

陶磁器に出会うV

開窯300年 マイセン 西洋磁器の誕生 ここがみどころ

マイセン磁器の魅力ーマイセン誕生①

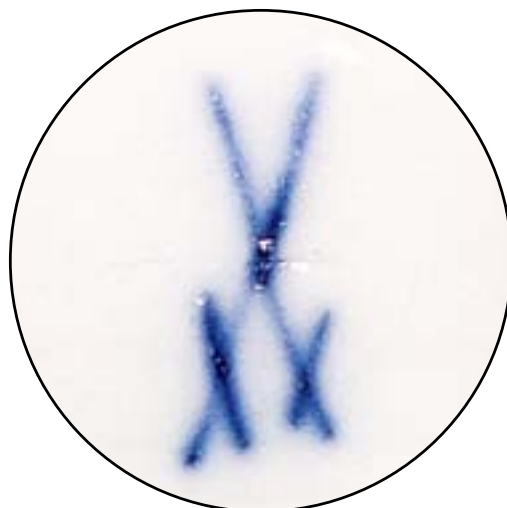
2本の交差するブルーの剣をシンボルマークに持つマイセン磁器は、日本でも人気の高いやきもの一つです。マイセンはドイツ東部ドレスデンからエルベ河に沿って車で30分程のところにある小さな町。そして、300年の歴史を持つヨーロッパ有数の硬質磁器窯、マイセン磁器製作所としても知られています。

さて、このマイセン磁器誕生の背景には、ザクセン選帝侯国フリードリッヒ・アウグストⅠ世、通称アウグスト強王(1670-1733)の飽くなき情熱がありました。

当時ヨーロッパでは、宝石の如く美しい日本や中国の東洋磁器の人气が大変高く、各国の王侯貴族達は競って蒐集をしていました。さらに、自国でのこうした磁器の開発に成功すれば、望むだけの美しい磁器と巨万の富を手に入れられることから、他の諸侯同様、アウグスト強王も持てる権力を駆使したのです。



色絵金彩岩牡丹文双耳蓋物 1750年頃



シンボルマーク

お問い合わせ

細見美術館

TEL 075-752-5555